

平成 29 年度
事業報告書

自 平成 29 年 4 月 1 日
至 平成 30 年 3 月 31 日

一般財団法人 海技振興センター

目 次

	頁
I. 一般財団法人海技振興センターの概況	
1. 事業等	1
2. 役員	1
3. 評議員	2
4. 事務局	3
5. 事業資金	3
II. 評議員会及び理事会の主たる議事	3
III. 事業の概要	5
1. 水先人の養成及び確保のための事業	5
(1) 水先人の養成に関する総合事業検討委員会等の開催状況	5
(2) 水先人養成支援対象者に対する支援	5
(3) 登録水先人養成施設等に対する支援	9
(4) 水先人養成支援対象者選考結果	10
(5) 水先人養成制度等に関する周知活動	11
(6) 水先修業生の水先人試験結果等	12
2. 海技の振興に関する事業	13
(1) 「HTW 調査検討に関する調査検討専門委員会」の開催運営及び STCW 条約改正に係る IMO 諸会議への出席等	13
(2) 「国際条約に対応する船員訓練等に関する調査研究専門委員会」 の開催運営等	14
(3) 「水先人の人材確保・育成等に関する検討会」の開催運営等	15
(4) 海技振興フォーラムの開催	17
(5) 海技ネットワークの運営	17
3. 水先業務用施設の整備その他水先業務の改善に関する事業	18
4. その他事業	19
IV. 登記、申請及び報告事項	19
V. 規則類の制定・改正等に関すること	20

I. 一般財団法人海技振興センターの概況

1. 一般財団法人海技振興センターの事業等

(1) 事務所

東京都千代田区麴町四丁目5番地

(2) 目的

水先人の養成及び確保のための総合的な支援を行うとともに、船舶の運航及びきょう導に関する諸技術の改善進歩、これらに従事する者の資質の向上、その他海技の振興に関する事業を行い、もって船舶交通の安全確保、船舶の運航能率の増進及び海洋環境の保全に寄与することを目的とする。

(3) 事業

- ① 水先人の養成及び確保のための総合的な支援
- ② 水先人の養成の適確化及び円滑化に関する事業
- ③ 水先業務用施設の整備資金及び水先業務の開業資金の融資事業その他水先業務の改善に関する事業
- ④ 船舶の運航及びきょう導に関する諸技術の改善・向上その他海技の振興に関する事業
- ⑤ 船舶の運航及びきょう導に関する調査研究
- ⑥ 海上労働に関する労働科学的研究
- ⑦ 前2号の調査研究成果の公表、普及及び関係官庁、国際機関等に対する提言
- ⑧ 不動産の貸付に関する事業
- ⑨ その他本センターの目的を達成するために必要な事業

2. 平成30年3月31日現在の役員は次のとおりである。(敬称略)

(1) 理事

(代表理事)

会長 朝倉次郎 理事長 伊藤鎮樹

(業務執行理事)

常務理事 野中治彦 常務理事 戸摩辰雄

(理事)

理事 石橋武 理事 井上欣三

理事 小野芳清 理事 葛西弘樹

理事 加藤雅徳 理事 小山智之

理事 竹中五雄 理事 春成誠

理事 檜垣漸

以上 13名

- ① 平成 29 年 4 月 1 日理事辞任（敬称略）
根 本 正 昭
- ② 平成 29 年 4 月 1 日理事就任（敬称略）
加 藤 雅 徳
- ③ 平成 29 年 5 月 1 日理事就任（敬称略）
戸 摩 辰 雄
- ④ 平成 29 年 6 月 21 日理事辞任（敬称略）
戸 摩 辰 雄
- ⑤ 平成 29 年 6 月 21 日理事就任（敬称略）
朝 倉 次 郎 石 橋 武 伊 藤 鎮 樹
井 上 欣 三 小 野 芳 清 葛 西 弘 樹
加 藤 雅 徳 小 山 智 之 竹 中 五 雄
戸 摩 辰 雄 野 中 治 彦 春 成 誠
檜 垣 漸
- ⑥ 平成 29 年 6 月 30 日理事辞任（敬称略）
古 田 幸 信

(2) 監 事

監 事 金 田 章 治 監 事 堀 眞 琴
監 事 前 原 輝 幸

以上 3 名

- ① 平成 29 年 6 月 21 日監事辞任（敬称略）
辻 前 昭
- ② 平成 29 年 6 月 21 日監事就任（敬称略）
堀 眞 琴

3. 平成 30 年 3 月 31 日現在の評議員は次のとおりである。（敬称略）

評議員 磯 田 裕 治 評議員 小 鹿 邦 博 評議員 門 野 英 二
評議員 高 橋 静 夫 評議員 田 倉 幸 秀 評議員 鱸 居 芳 昭
評議員 中 村 哲 朗 評議員 野 上 明 芳 評議員 野 尻 豊
評議員 松 村 泰 材 評議員 宮 崎 達 彦 評議員 森 谷 進 伍

以上 12 名

- ① 平成 29 年 6 月 21 日評議員辞任（敬称略）
小 田 和 之 蔭 山 進 櫻 井 康 弘
竹 中 五 雄 山 本 昌 平
- ② 平成 29 年 6 月 21 日評議員就任（敬称略）
磯 田 裕 治 小 鹿 邦 博 田 倉 幸 秀
野 上 明 芳 門 野 英 二

4. 事務局

事務局職員 13名（年度末）

5. 事業資金

本センターの事業資金は、（公財）日本海事センターからの補助金及び基本財産の果実等による。

II. 評議員会及び理事会の主たる議事

1. 評議員会

開催年月日	議事内容
平成 29 年 6 月 21 日 （平成 29 年度第 1 回）	1. 議題 （1）平成 28 年度決算報告について （2）評議員の選任及び退任について （3）役員を選任及び退任について 2. 報告 （1）第 1 回理事会の報告について
平成 29 年 11 月 9 日 （平成 29 年度第 2 回）	1. 報告 （1）平成 29 年度第 2 回理事会の報告について ① 会長（代表理事）の選任について ② 理事長（代表理事）の選任について ③ 常務理事（業務執行理事）の選任について ④ 事務局長の任命について （2）平成 29 年度第 3 回理事会の報告について ① 平成 29 年度第 2 回評議員会の招集について （3）平成 29 年度第 4 回理事会の報告について ① 公益財団法人日本海事センターに対する平成 30 年度補助金申請について ② 水先業務施設整備等基金制度運用規則の一部改正について ③ 会長、理事長及び常務理事の職務の執行状況報告について
平成 30 年 3 月 28 日 （平成 29 年度第 3 回）	1. 報告 （1）平成 29 年度第 5 回理事会（書面開催）の報告について （2）平成 30 年度事業計画について （3）平成 30 年度予算について （4）会長、理事長及び常務理事の職務の執行状況報告について

2. 理事会

開催年月日	議事内容
平成 29 年 6 月 5 日 (平成 29 年度第 1 回)	1. 議題 (1) 定時評議員会の招集及び議案について (2) 平成 28 年度事業報告及び平成 28 年度決算報告について (3) 平成 28 年度公益目的支出計画実施報告書について (4) 事務局組織規程の改正について
平成 29 年 6 月 27 日 (平成 29 年度第 2 回)	1. 議題 (1) 会長（代表理事）の選任について (2) 理事長（代表理事）の選任について (3) 常務理事（業務執行理事）の選任について (4) 事務局長の任命について 2. 報告 第 1 回評議員会の報告について
平成 29 年 10 月 20 日 (理事会決議があったと みなされた日) (平成 29 年度第 3 回)	1. 議題 (1) 平成 29 年度第 2 回評議員会招集の件
平成 29 年 11 月 8 日 (平成 29 年度第 4 回)	1. 議題 (1) 公益財団法人日本海事センターに対する平成 30 年度補助金申請について (2) 水先業務施設整備等基金制度運用規則の一部改正について 2. 報告 (1) 会長、理事長及び常務理事の職務の執行状況報告について
平成 30 年 2 月 2 日 (理事会決議があったと みなされた日) (平成 29 年度第 5 回)	1. 議題 (1) 平成 29 年度第 3 回評議員会招集の件
平成 30 年 3 月 22 日 (平成 29 年度第 6 回)	1. 議題 (1) 平成 30 年度事業計画(案)について (2) 平成 30 年度予算(案)について 2. 報告 (1) 会長、理事長及び常務理事の職務の執行状況報告について

Ⅲ. 事業の概要

1. 水先人の養成及び確保のための事業

水先人の確保に資するため、水先人養成が適確かつ効率的に実施されるよう、「水先人養成に関する総合事業検討委員会」において、具体的な改善について関係者の意見を聞きつつ検討を行い、これまでの事業実績を踏まえながら支援業務を行った。

(1) 水先人養成に関する総合事業検討委員会等の開催状況

平成29年度の水先人養成に関する総合事業検討委員会等の開催状況は次のとおりである。

① 水先人養成に関する総合事業検討委員会

開催年月日	議事内容
平成29年6月15日 (平成29年度第1回)	<ol style="list-style-type: none">1. 水先人養成支援費の予算と実績について2. 平成28年度第3回養成手当返還等審査会検討結果について3. 平成29年度第1回選考に関する専門会議の検討状況について4. 平成29年度水先人養成支援対象者の募集案内等について5. 関門水先区水先人会設置水先養成訓練用シミュレータ移設について6. 水先教育センター目標達成度記録管理システム(EMMA)の一部改訂について7. 平成29年度水先人の業務及び養成に関する周知・広報活動等について8. 登録水先人養成施設水先人養成訓練用操船シミュレータ景観データ作成及びビデオカメラ購入について9. 支援要請について(乗下船安全訓練実施にかかる費用)10. その他(報告事項等)<ol style="list-style-type: none">1) 登録水先人養成施設水先人養成訓練用操船シミュレータ景観データ作成状況について2) 登録水先人養成施設三級離着棧訓練用操船シミュレータ設置場所の原状回復について3) 平成28年度水先業務・養成支援制度説明会及び現場見学会実施状況について4) 平成28年度募集三級十一期生、三級十期生(追加)の応募状況について5) その他11. 平成28年度登録水先人養成施設の内部評価報告に対する本センター会議評価(以下「センター会議評価」という。)の実施について

<p>平成 29 年 9 月 20 日 (平成 29 年度第 2 回)</p>	<ol style="list-style-type: none"> 1. 水先人養成支援費の予算と実績について 2. 平成 29 年度第 2 回及び第 3 回選考に関する専門会議の検討状況について 3. 三級水先修業生の商船乗船訓練について 4. 平成 29 年度水先業務・養成制度に関する説明会について 5. 水先教育センター複合機代替に伴うリース契約の支援要請について 6. 水先教育センター操船シミュレータ周辺機器の改善に関する支援要請について 7. その他（報告事項等） <ol style="list-style-type: none"> 1) 登録水先人養成施設水先人養成訓練用操船シミュレータ景観データ作成状況について 2) 海フェスタ神戸における広報活動について 3) 水先人養成訓練用フルミッションシミュレータ（4K）完工検査立会いについて 4) 平成 29 年度募集一級十二期生、二級五期生、三級十二期生の応募状況について 5) その他 8. 登録水先人養成施設のセンター会議評価の実施について
<p>平成 29 年 12 月 1 日 (平成 29 年度第 3 回)</p>	<ol style="list-style-type: none"> 1. 水先人養成支援費の予算と実績について 2. 平成 29 年度第 4 回選考に関する専門会議の検討状況について 3. 第 3 回商船乗船実習に関わる 4 組織の意見交換会及びワーキンググループ実施結果について 4. 水先教育センター教育訓練記録管理（RET）システムの改訂について 5. 水先教育センター操船シミュレータ棟 VPN 用通信回線設置について 6. その他（報告事項等） <ol style="list-style-type: none"> 1) 関門水先区水先人会水先人養成訓練用操船シミュレータ移設について 2) 平成 29 年度水先人業務・養成支援制度説明会実施状況について 3) 水先教育センター操船シミュレータ「ムアリング制御機能」改修作業実施状況（報告）について 4) 水先教育センターで「海難審判の衝突事例」を解説講演（記事掲載）について 5) 平成 29 年度募集一級十二期生、三級十二期生の応募状況 6) その他

<p>平成 30 年 2 月 27 日 (平成 29 年度第 4 回)</p>	<ol style="list-style-type: none"> 1. 水先人養成支援費の予算と実績について 2. 平成 29 年度第 5 回選考に関する専門会議の検討状況について 3. 水先教育センター教育訓練記録管理 (RET) システムの改訂について 4. 水先教育センター事務職員 1 名採用について 5. 水先教育センター操船シミュレータ棟のオペレータ増員について 6. 水先教育センターにパイロットサポートシステム・タブレット導入について 7. 平成 30 年度広報用ポスター及びパンフレットについて 8. 水先教育センター講師の特別事務費について 9. 海技ゼミナール参加費用の支援要請について 10. その他 (報告事項等) <ol style="list-style-type: none"> 1) 平成 30 年 10 月入学三級水先修業生 (十一期生) 商船乗船訓練受入先について 2) 平成 29 年度水先業務・水先人養成支援制度説明会実施状況について 3) 平成 29 年度水先業務現場説明会実施予定 (報告) について 4) JMETS カレンダーへの水先養成関係スケジュール等の掲載について 5) 水先教育センター教育訓練記録管理 (RET) システムの改訂作業実施状況について 6) 平成 29 年度募集三級十二期生の応募状況 7) その他
---	--

水先人養成に関する総合事業検討委員会委員 (敬称略)

委員長	羽原敬二				
委員	辻村公寛	松本恭昇	増井真		
	伊東佳宏	石橋武	小山智之		
	加藤雅徳	門野英二	田中俊弘		
	田邊礼士	堀晶彦	竹口信和		
	古田幸信				

以上 14 名

i 支援金に関する専門会議

平成 29 年度 開催実績なし
 支援金に関する専門会議委員（敬称略）
 座長 辻村公寛
 委員 中村政一 竹井義晴 中原賢
 田中俊弘 以上 5 名

ii 養成手当返還等審査会

平成 29 年度 開催実績なし
 養成手当返還等審査会委員（敬称略）
 座長 辻村公寛
 委員 松原克美 中村政一 竹井義晴
 中原賢 田中俊弘 以上 6 名

iii 選考に関する専門会議

開催年月日	議事内容
平成 29 年 5 月 18 日 (平成 29 年度第 1 回)	1. 選考基準の改定について 2. 募集案内の一部変更について 3. 平成 29 年度全級選考スケジュールについて 4. その他
平成 29 年 7 月 20 日 (平成 29 年度第 2 回)	1. 平成 29 年度三級水先人養成支援対象者（十期生・追加募集）選考試験「合格者の決定」について 2. その他
平成 29 年 8 月 30 日 (平成 29 年度第 3 回)	1. 平成 30 年度三級水先人養成支援対象者（十一期生・新規募集）選考試験「合格者の決定」について 2. その他
平成 29 年 11 月 1 日 (平成 29 年度第 4 回)	1. 平成 29 年度二級水先人養成支援対象者（五期生）選考試験「合格者の決定」について 2. その他
平成 30 年 2 月 7 日 (平成 29 年度第 5 回)	1. 平成 30 年度一級水先人養成支援対象者（十二期生）選考試験「合格者の決定」について 2. 選考基準 TOEIC Score について 3. その他

選考に関する専門会議委員（敬称略）

座長 羽原敬二
 委員 松本恭昇 増井眞 前原武人
 竹井義晴 田中俊弘 葛西弘樹
 久古弘幸 市川義文 古田幸信
 戸摩辰雄 田代誠二 以上 12 名

(2) 水先人養成支援対象者に対する支援

水先人養成支援対象者が登録水先人養成施設において適確に養成を受けることができるよう、次に掲げる支援対象者 48 名に対し養成手当を支給するとともに、必要な教材（海図、海事英語教材及びその他の書籍）及び被服（救命胴衣等）の無償貸与並びに水先区における現場訓練等の乗船訓練の実施に伴い発生する旅費及び宿泊費等の実費を支援した。また、引き続き、修業期間中の傷害保険を付保した。

一 級	十一期生	24 名
二 級	四期生	3 名
	五期生	1 名
	合 計	4 名
三 級	七期生	4 名
	八期生	5 名
	九期生	4 名
	十期生	7 名
	合 計	20 名

i 商船乗船実習を受ける水先修業生（水先修業船員）に対する支援

上記の養成支援対象者のほか、航海経験の少ない新卒者について、船社の協力を得て外航商船の航海士等として乗船実習させるため、平成 27 年度の 3 名及び平成 28 年度の 4 名に加え、平成 29 年 10 月 1 日に水先修業船員として 2 名を雇用し（雇用期間 2 年）、船社（日本郵船（株）：1 名、川崎汽船（株）：1 名）に出向させた。平成 27 年度に出向させた 3 名の水先修業生は約 1 年の商船乗船実習（雇用期間 2 年）を終えて同実習を修了した。

ii 三級水先修業生激励式の開催

平成 29 年 10 月 2 日に海技大学校において三級水先修業生激励式を開催した。

(3) 登録水先人養成施設等に対する支援

登録水先人養成施設（海技大学校）及び五大水先区（東京湾水先区、伊勢三河湾水先区、大阪湾水先区、内海水先区及び関門水先区）に対し、操船シミュレータ装置及び同装置用ソフトウェアを無償で貸与をした。

また、同校における水先人等の講師、操船シミュレータのインストラクター及びオペレータの費用負担についても、引き続き支援を行った。

さらに、乗船訓練や水先区における現場訓練の円滑な実施への協力等必要な支援を行った。

(4) 水先人養成支援対象者選考結果（H29.4～H30.3実施分）

i 平成30年度一級水先人養成支援対象者（12期）

（平成30年1月21日総合適性試験、1月30日・31日面接試験、2月14日発表）

	水先区	募集定員	応募者	合格者
一級 (19区)	釧路	1名	—	—
	留萌	1名	—	—
	釜石	1名	—	—
	仙台湾	1名	1名	1名
	酒田	1名	1名	1名
	小名浜	1名	1名	1名
	鹿島	1名	1名	1名
	東京湾	4名	7名	4名
	田子の浦	2名	—	—
	伊勢三河湾	6名	4名	6名
	大阪湾	3名	3名	3名
	内海	10名	7名	9名
	関門	2名	1名	2名
	小松島	1名	—	—
	博多	1名	3名	1名
	長崎	1名	1名	1名
	島原海湾	1名	1名	1名
	細島	2名	—	—
	那覇	2名	—	—
合計		42名	31名	31名

ii 平成29年度二級水先人養成支援対象者（5期）

（平成29年10月15日総合適性試験、10月24日面接試験・11月7日発表）

	水先区	募集定員	応募者	合格者
二級 (6区)	釧路	1名	—	—
	秋田船川	1名	1名	1名
	東京湾	1名	—	—
	伊勢三河湾	1名	—	—
	大阪湾	1名	—	—
	内海	2名	—	—
合計		7名	1名	1名

iii 平成30年度三級水先人養成支援対象者（11期）

（平成29年8月13日総合適性試験、8月22日面接試験・9月8日発表）

	水先区	募集定員	応募者	合格者
三 級 (4区)	東京湾	3名	10名	3名
	伊勢三河湾	2名	3名	2名
	大阪湾	2名	3名	2名
	内海	3名	6名	3名
合 計		10名	22名	10名

(5) 水先人養成制度等に関する周知活動

新たな水先人養成制度により必要な水先人の確保が図られるよう、パンフレットの作成・配布、ホームページの充実等を通じ、引き続き、水先制度、水先人養成支援制度等の周知活動を実施した。

i 周知活動のため海の総合展への参加

平成29年7月15日～7月30日 海フェスタ神戸

：ブース訪問者数 2,550名

：操船シミュレータ体験者数 694名（子供、学生等）

ii 水先人業務・養成制度説明会

日本水先人会連合会、各水先人会及び独立行政法人海技教育機構の協力を得て、学生に水先業務を生で体験できるよう練習船を活用した説明会を実施するとともに、練習船の説明会に参加できない者に対し三級海技士を養成する各学校においても説明会を実施した。

- ・平成29年10月6日：東京海洋大学
- ・ 〃 10月20日：練習船「青雲丸」（於：門司港）
- ・ 〃 11月2日：水産大学校
- ・ 〃 11月6日：東海大学
- ・ 〃 11月18日：練習船「銀河丸」（於：広島港）
- ・ 〃 12月4日：練習船「日本丸」（於：横浜港）
- ・ 〃 12月14日：鹿児島大学
- ・ 〃 12月15日：長崎大学

iii 水先業務現場見学会

- ・平成30年3月1日：伊勢三河湾水先区
- ・ 〃 3月13日：東京湾水先区
- ・ 〃 3月20日：大阪湾水先区・内海水先区
- ・ 〃 3月22日：関門水先区

(6) 水先修業生の水先人試験結果等

① 一級水先修業生（10期）（平成29年4月入学～平成29年12月修了）

	水先区	養成修了者	合格者
一 級 (10区)	苫小牧	— ※	1名
	小名浜	1名	1名
	鹿 島	1名	1名
	東京湾	5名	4名
	伊勢三河湾	6名	5名
	大阪湾	4名	4名
	内 海	2名	2名
	関 門	2名	2名
	長 崎	1名	1名
	鹿児島	1名	1名
	合 計	23名	22名

※ 苫小牧の1名は水先人試験には合格したが養成施設は未修了。

② 二級水先修業生（4期）（平成29年1月入学～平成30年3月修了）

	水先区	修了者	合格者
二 級 (3区)	東京湾	1名	1名
	関 門	1名	1名
	島原海湾	1名	1名
	合 計	3名	3名

③ 三級水先修業生（8期）（平成27年10月入学～平成29年6月修了）

	水先区	修了者	合格者
三 級 (2区)	伊勢三河湾	1名	1名
	内 海	1名	1名
	合 計	2名	2名

2. 海技の振興に関する事業

(1) HTW 調査検討専門委員会

IMO の MSC 及び HTW 等に対するわが国の対応等を総合的に検討するため、有識者、国、船主、船員団体および海技教育機関等の国内関係者により構成する標記委員会を設置・運営し、MSC98 への対応をはじめ今後の戦略的対応等に向けた検討を行うとともに、わが国の船員に関する MSC98 への対処方針の取りまとめを行った。

開催年月日	議事内容
平成 29 年 5 月 31 日 (平成 29 年度第 1 回)	1. HTW4 結果概要について 2. MSC98 への対応について 3. その他
平成 30 年 1 月 16 日 (平成 29 年度第 2 回)	1. MSC98 結果概要について 2. 次期 MSC 及び HTW への対応について 3. その他
平成 30 年 2 月 19 日 (平成 29 年度第 3 回)	1. 自動運航船にかかる MSC99 への STCW 条約に関するアウトプットについて 2. 和英対訳 STCW 条約書籍の改訂協力について 3. その他

HTW 調査検討専門委員会委員 (敬称略：平成 30 年 3 月 31 日現在)

委員長 竹本 孝弘
委員 岩瀬 恵一郎 及川 武司 佐藤 歩美
巢籠 大司 高瀬 敏一 立川 博行
中澤 武 中田 治 藤岡 宗一
渕 真輝 山口 孝次 淀川 亮彦

以上 13 名

(2) STCW 条約に係る IMO 諸会議への出席

船員の資格・訓練等の国際基準を議論する国際海事機関 (IMO) の第 98 回海上安全委員会 (MSC98) 及び第 5 回船舶設計・建造小委員会 (SDC5) に、国その他の関係者とともに技術・研究部主任研究員が出席し、わが国の意見等の援護、諸外国との情報交換その他情報収集等を行った。

また、デンマーク海事局・IMO 共催による自動運航船に関する国際会議等に国その他の関係者とともに技術・研究部主任研究員が出席し、諸外国との情報交換その他情報収集等を行った。

開催年月日	議事内容
平成29年 6月 7日 ～ 6月16日 (第98回MSC) 於：ロンドンIMO本部	1. 旅客船損傷時制御操練要件の改正 (SOLAS条約) 2. 海事サイバーリスク管理指針の承認等 3. STCW条約改正要件に係る締約国等関係者指針の承認、疲労関係ガイドライン見直し期限延長の承認、自動船位保持装置操作要員の訓練指針策定に伴う附属書脚注改正の承認 (HTW4報告) 4. 日本を含む有識者の承認 5. 自律航行船に関する規制面の論点整理の開始 等
平成29年11月13日 ～11月15日 (自動運航船に関する国際会議等) 於：コペンハーゲン	1. 自動運航船 (デンマーク海事局) 2. 自動運航船とEU規則 (EU委員会) 3. 遠隔操縦船の実例 4. 無人化船の諸計画 5. 自動運航船の諸問題 等
平成30年 1月22日 ～ 1月26日 (第5回SDC) 於：ロンドンIMO本部	1. 国際航海に従事する12人を超える洋上産業人員の輸送に係る義務的要件 2. 係船設備に係るSOLAS条約附属書・関連ガイドラインの改正および安全な係船作業のための新しいガイドライン 3. 現存旅客船に係る浸水事故時の船長支援のための復原性計算 等

(3) 国際条約に対応する船員訓練等に関する調査研究専門委員会

国際条約に基づく船員訓練等に対応するため、有識者、国、船社、専門家等の関係者により構成する標記委員会を設置・運営し、SOLAS条約に基づく船員の低体温症対策訓練の実施に必要なDVD教材を作成するとともに、STCW条約により平成30年7月から義務化される旅客船船員の群衆管理訓練の実施に必要な群衆管理基本手引書の作成を行った。

開催年月日	議事内容
平成29年5月25日 (第4回)	1. 海技振興フォーラム(平成28年度)の報告について 2. 平成29年度の調査研究テーマについて 3. 船員の低体温症対策に係るDVDの作成について 4. 今後のスケジュールについて 5. その他

平成 29 年 11 月 1 日 (第 5 回)	1. 船員の低体温症対策に係るDVDの作成について 2. 旅客船の群衆管理基本マニュアルの作成について 3. 平成30年度の調査研究テーマについて 4. 今後のスケジュールについて 5. その他
平成 30 年 1 月 30 日 (第 6 回)	1. 船員の低体温症対策に係るDVDの作成について 2. 旅客船の船員のための群衆管理基本手引書の作成について 3. その他

国際条約に対応する船員訓練等に関する調査研究専門委員会委員
(敬称略：平成 30 年 3 月 31 日現在)

委員長	羽 原 敬 二						
委員	阿 部 格	岩 瀬 恵一郎	大久保 安 広				
	古 賀 令 二	紫 原 剛	清 水 洋				
	庄 田 昌 隆	田 口 稔	田 村 祐 司				
	寺 西 達 弥	濱 田 肖 介	堀 江 貫 義				
	丸 本 秀 一	宮 川 孝 一	宮 島 英 明				
	山 川 仁 彦	山 口 孝 次	山 田 憲 一				
	横 山 仁	淀 川 亮 彦					

以上 21 名

(4) 水先人の人材確保・育成等に関する検討会

水先人の確保・育成等、水先を巡る喫緊の諸課題の検討をするため、有識者、国、船主団体、水先人団体等の関係者により構成する標記検討会について、国及び当センターが共同で設置・運営し、9月14日の第11回検討会においては第二次とりまとめが行われた。

開催年月日	議事内容
平成 29 年 6 月 22 日 (第 10 回)	1. 内海水先区対策の検討に係るシミュレーション調査結果 2. 内海水先区の将来に向けた取組みについて 3. 水先人試験の合理化 4. 内海水先区対策 5. 水先引受主体の法人化 6. 水先区の見直し 7. 二級及び三級水先人の業務範囲（対象範囲）の見直し 8. その他
平成 29 年 9 月 14 日 (第 11 回)	1. 第二次とりまとめ案

水先人の人材確保・育成等に関する検討会委員

(敬称略：平成30年3月31日現在)

座長 落合 誠 一
 座長代理 羽原 敬 二
 委員 池谷 義之 石橋 武 今津 隼馬
 大久保 安広 太田 秀男 小野 芳清
 葛西 弘 加藤 雅徳 門野 英二
 小山 智之 齋藤 實 竹口 信和
 西本 哲明 藤瀬 一則 松本 恭昇
 村瀬 千里 以上 18名

i モニタリング委員会（第二次とりまとめ関連）

水先人の人材確保・育成等に関する検討会の第二次とりまとめに基づき、第1回目のモニタリング委員会を開催し、各水先人会の取り組み状況等について報告が行われた。

開催年月日	議事内容
平成29年12月22日 （第1回）	1. 水先人の人材確保・育成等に関する検討会のモニタリング委員会について 2. 「安全かつ円滑な水先業務の確保」のための各水先人会が改正した会則の実効性について 3. 「中小規模水先区の水先人不足に対する円滑な派遣支援の確保」のため各水先人会が改正した会則の実効性について 4. 内海水先区水先人会が進める業務改善や募集活動の取組状況の推移について

モニタリング委員会委員（敬称略：平成30年3月31日現在）

委員 安藤 智広 井上 徳親 川原 竜太郎
 小見山 純郎 齋藤 實 佐々木 将雄
 清水 洋 田中 俊弘 中原 賢
 春名 克彦 久永 一男 藤瀬 一則
 増井 眞 松村 泰材 松本 恭昇
 村瀬 千里 山本 高司 以上 17名

ii 水先人の責任制限等のあり方に関する勉強会（第二次とりまとめ関連）

水先人の人材確保・育成等に関する検討会の第二次とりまとめに基づき、第1回目の水先人の責任制限等のあり方に関する勉強会を開催し、水先人の責任制限等のあり方について検討が開始された。

開催年月日	議事内容
平成30年3月22日 〈第1回〉	1. 水先人の責任制限等のあり方に関する勉強会について 2. 水先人の責任関係について 3. 水先人の訴訟事案について(約款の改定関係)

水先人の責任制限等のあり方に関する勉強会委員

(敬称略:平成30年3月31日現在)

座長 落合 誠一

委員 雨宮 正啓 岡部 博記 小野 芳清

加藤 雅徳 片岡 徹 門野 英二

小山 智之 田中 俊弘 西本 哲明

羽原 敬二 松村 泰材 松本 恭昇

以上13名

(5) 海技振興フォーラムの開催

・平成30年2月19日

第3回海技振興フォーラムを開催し、朝倉会長の挨拶をはじめとして、次のとおり講演等が行われた。

① 第三期海洋基本計画の策定に向けて

内閣府総合海洋政策推進事務局 羽尾 事務局長

② 船員政策の最新動向と対策

国土交通省海事局船員政策課 増田 課長

③ IMOにおける議論の最新動向

HTW調査検討専門委員会 竹本 委員長(東京海洋大学 教授)

④ 自動運航船等に対する諸外国の状況

海技振興センター技術・研究部 岡村 主任研究員

⑤ 船員の低体温症対策について(DVD上映)

国際条約に対応する船員訓練等に関する調査研究専門委員会
羽原 委員長(関西大学 教授)

(6) 海技ネットワークの運営

船舶交通の安全確保及び船舶の運航能率の向上に資するため、これまでの当センターの調査研究(旧(財)日本海技協会及び(財)海上労働科学研究所のものを含む。)その他関係団体による成果物等について、一元的に広く公益のために提供することを目的とするホームページ「マリタイムフォーラム」を運営し、その内容等の拡充を行った。

3. 水先業務用施設の整備その他水先業務の改善に関する事業

(1) 水先業務施設整備に必要な資金の貸付（新規）

① 平成 30 年 2 月 15 日：長崎水先区水先人会（水先艇）	3,300 万円
② 平成 30 年 3 月 6 日：東京湾水先区水先人会 （水先業務管理支援システム）	6,500 万円
合 計	<u>9,800 万円</u>

(2) 水先業務の開始に必要な開業資金の貸付（新規）

① 平成 29 年 3 月 30 日：東京湾水先区水先人 3 名（一級）	各 500 万円
② 平成 30 年 3 月 15 日：伊勢三河湾水先区水先人 1 名（一級）	500 万円
③ 平成 30 年 3 月 30 日：小名浜水先区水先人 1 名（一級）	500 万円
東京湾水先区水先人 1 名（一級）	500 万円
合 計	<u>3,000 万円</u>

(3) 貸付金の償還及び利息の受領等の業務を実施（適時）

(4) 東京都への報告、届出の状況

- ① 平成 29 年 4 月 13 日：貸金業に係る政令で定める使用人及び役員（理事）の変更届出
- ② 平成 29 年 4 月 24 日：貸金業に係る営業所レイアウトの変更届出
- ③ 平成 29 年 5 月 10 日：貸金業に係る役員（常務理事）の変更届出
- ④ 平成 29 年 5 月 17 日：平成 28 年度貸金業務に係る業務報告提出
- ⑤ 平成 29 年 6 月 6 日：貸金業に係る連絡先電話番号（部署名変更）の変更届出
- ⑥ 平成 29 年 6 月 22 日：平成 28 年度貸金業務に係る事業報告提出
- ⑦ 平成 29 年 7 月 4 日：貸金業に係る役員（理事）の変更届出、政令で定める使用人の職名の変更届出及び非営利特例対象法人が業務経験者に関する要件を充足した場合の届出
- ⑧ 平成 30 年 1 月 18 日：立入検査時アドバイス（ホームページで貸付の広告を行っていない場合はホームページアドレスの届出不要）による変更届出

(5) 日本貸金業協会への報告、届出の状況

- ① 平成 29 年 10 月 6 日：社内規則一斉点検に係る実施細則の提出
- ② 平成 30 年 1 月 18 日：監督当局の立入検査に係る届出

(6) 運用規則内規及び実施細則等の一部改正

- ① 平成 29 年 5 月 29 日：平成 29 年 5 月 30 日施行の「個人情報保護に関する法律」の改正に伴い、貸金業実施細則を一部改正
- ② 平成 29 年 11 月 8 日：一定の貸付けの場合の利息につき、実質年率を低減（1.8%）したことに伴い、運用規則内規、貸金業実施細則及び貸付条件表を一部改正
- ③ 平成 30 年 2 月 1 日：日本貸金業協会による社内一斉点検時の一部項目の不備対応に伴い、貸金業実施細則を一部改正

(7) 運営の適正化等のための事務の実施

- ① 平成 29 年 8 月 29 日：平成 28 年度末現在で貸付残高のある 53 の貸付先に対し、他の貸金業者からの借入れ等の状況報告（様式第 4 号の 3）及び決算報告書類等の提出を受け、その内容を確認
- ② 平成 30 年 3 月 5 日：35 水先区水先人会に対し、平成 30 年度及び平成 31 年度以降 5 年間の水先業務施設整備等基金貸付申込予定を提出して頂き、その内容を確認
- ③ 平成 30 年 3 月 23 日：平成 30 年度貸金業務に係る行動計画、研修計画及び監査計画を策定

4. その他事業

当センターが区分所有する海事センタービルの 6 階の一部について、貸付その他適正な管理に努めた。

IV. 登記、申請及び報告事項

1. 登記事項

- (1) 評議員及び理事の変更登記申請（平成 29 年 4 月 12 日）
- (2) 理事の変更登記申請（平成 29 年 5 月 1 日）
- (3) 評議員、理事、代表理事及び監事の変更登記申請（平成 29 年 7 月 6 日）

2. 内閣府に対する報告事項

- (1) 公益目的支出計画実施報告書等の提出（平成 29 年 6 月 27 日）

3. （公財）日本海事センターに対する補助金申請・報告事項

- (1) 平成 28 年度補助事業完了報告（平成 29 年 5 月 30 日）
- (2) 平成 29 年度補助金交付申請（平成 29 年 11 月 13 日）
（交付決定：平成 30 年 4 月 1 日）

V. 規則類の制定・改正等に関すること

1. 事務局組織規程の一部改正（総務・振興部の設置。H29.7.1 施行）
〔平成 29 年度第 1 回理事会承認（平成 29 年 6 月 5 日）〕
2. 水先業務施設整備等基金制度運用規則の一部改正（貸付金利の一部低減。
H29.11.8 施行）
〔平成 29 年度第 4 回理事会承認（平成 29 年 11 月 8 日）〕
3. 平成 29 年度事業計画に従い、公認会計士による月例監査実施（毎月）